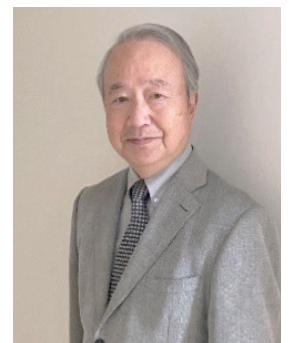




新年度を迎えて ～理事長挨拶～

「対 COVID-19 反攻の年に！」

すでに1年半、COVID-19との戦いが続いています。はじめはマスク・手指消毒・人同士の接触制限といういわば丸腰での戦いでしたが、ようやく今春からワクチンという武器が投入され始めました。しかし敵は手強く、新勢力として姿形を変えた変異株が続々と現れ、戦いの勝敗は予断を許さない状況です。それでも我々はこの1年間の経験から、十分な感染対策のもとであれば一定程度の活動は可能であること、重症化のメカニズム等の解析により治療法が改善されるなど、重苦しい黒雲の合間に一条の光が見え始めています。防戦一方だった1年目とは異なり、今年度はCOVID-19の脅威にあらゆる手段で対抗しつつ、個人・組織ともに果たすべき役割を遂行できるよう尽力して行こうではありませんか。1年後のCOVID-19に対する人類の勝利宣言を、心の底から期待したいと思います。



理事長 星野雄一



トピックス ～当センターの職員を紹介します～

診療部

診療部は医務課と診療技術課、地域医療連携室の2課・1室体制となっています。医務課には診療を担う各科の医師が所属しており、リハビリテーション科・整形外科・小児科・脳神経内科の専門医が常勤で働いています。診療技術課は、薬剤師の薬剤科、臨床検査技師の検査科、診療放射線技師の放射線科、管理栄養士の栄養科が、医師とともに診療を担っています。地域医療連携室は、保健師・社会福祉士・事務が所属し、地域連携の窓口として、転院相談、入院相談の受付をしており、地域の医療機関、介護保険関連機関と連携しています。令和3年度は、社会福祉士1名が入所育成科に新規採用され、地域医療連携室を兼務することになり、医療福祉関連機関との連携をより円滑に図ることを目指しています。



施設部

施設部には、肢体不自由や発達障害等のある障害児の通所施設である「こども発達支援センター」、主に肢体不自由児が入所して療育や訓練を受ける「こども療育センター」及び身体障害や高次脳機能障害のある障害者等がより自立した生活を目指し訓練する「障害者自立訓練センター（駒生園）」があります。

病院併設のメリットを活かし、多くの専門職が支援に当たる充実した職員体制が特徴です。今年度は、新人7名が配置されました。

これからも、利用児・者さんの思いに寄り添い、「できた!」という笑顔を増やしていけるよう、施設部職員一同頑張っていきます。

リハビリテーション部

今年度は、理学療法士1名、作業療法士2名、言語聴覚士1名の4名の新採用職員を迎え、総勢85名でのスタートとなりました。昨年度は、新型コロナウイルス感染対策としてゾーニングを実施し、今まで各職種毎であったリハ室やスタッフルームが、担当エリア毎での使用となりました。コミュニケーションの取りやすさは勿論のこと、言葉が中心であった他職種とのやり取りが、実際にリハの様子を目の当たりにすることで実感が得られるようになったり、職種を超え年長者が指導に当たったりと、違った形を経験する中で良いことが沢山ありました。

今年度も、更に改善をし、入院・外来ともにより良いリハビリテーションが提供できるよう努めていきます。



新採用職員 4名

看護部

看護部は、4月に8名の新人を迎え新年度スタートしました。

新たなスタッフを迎え、リハビリテーション医療を提供する専門職種チームの一員として知識・技術を高め、良質な看護の提供に努めていきます。

看護部令和3年度目標を紹介します。

1. 質の高いリハビリテーション看護を提供する
2. 安心・安全な環境を提供する
3. 一人ひとりが経営参画の意識を持つ

特に今年度は、感染対策を徹底し、安心・安全な療養環境の提供と、働く環境整備を更に進めるための魅力ある職場作りに努めていきます。目標が達成できるよう活動していきます。

Nursing now 看護の力で健康な社会を!



新採用職員 8名

管理部

令和3年度リハビリテーションセンターは独立行政法人となって4年目のスタートを迎えました。

昨年度センターでは、新型コロナウイルス感染症に対応するため、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、感染防止対策強化をセンター全体で進めてまいりました。

そのセンターを支える管理部をご紹介します。

管理部は経営企画室、総務課、財務課、医事課で組織されております。今年度は新人2名が加わりました。

管理部は、法人としての経営戦略の企画立案をはじめとして、人事、職員の給与や福利厚生といった職員全般に関わる業務、センター経営収支に繋がる予算・決算に関する業務、病院としての診療報酬に関する業務など、センター全体の組織運営を担っています。

コロナ禍の中ではありますが、法人として安定的な経営が行えるよう、また、センター職員が笑顔で働けるよう管理部一同これからも頑張っていきます。

連載

この人紹介

第4回 ロコモアドバイザーについて

ロコモアドバイザーとちぎ

健康長寿とちぎづくり県民運動の一環として、ロコモティブシンドロームの理解促進と予防対策の推進を図るために普及啓発を行います。

医療従事者、介護従事者、学校関係等で県が実施する研修会を終了すると、ロコモアドバイザーとちぎ証が交付されます。

当センター理学療法士のアドバイザーは9名となりました。

主な活動

- ロコモ資材の貸し出し
- 出前講座
- とちぎ健康フェスタ参加
- とちぎロコモプロジェクト連絡会議参加 等

ロコモの資材貸し出しは当センターにて承っております。

※出前講座のお問い合わせはHPをご覧ください。

ロコモアドバイザーとちぎ 理学療法士 田中 啓幸
(とちりハ病院研修会2019講師)

ロコモ予防を実践していくことで健康寿命を延ばすことができると考えます。

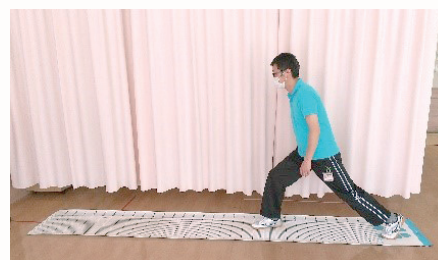
少しでも県民の力になれるように活動していきます。



ロコモアドバイザーとちぎ証



立ち上がりテスト



2ステップテスト



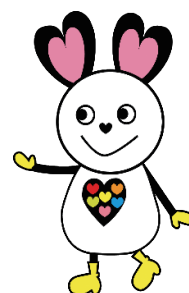
職員採用案内

当センターでは、一緒に働く職員を募集しております。
ご応募お待ちしております。

募集職種

- * 医師
- * 理学療法士
- * 看護師
- * 作業療法士
- * 薬剤師
- * 一般事務

詳細は、当センターホームページ
「採用募集情報」(<https://tochigi-riha.jp/>)を
ご覧下さい。



ナイチュウ

編集後記

今年度初の発行になります。

新型コロナウイルスとの戦いが続いておりますが、当センターでは利用者の皆様が安心して過ごせるよう、日々感染対策に取り組んでいます。

今年度で独法化4年目を迎えました。当センターを改めてよろしくお願い致します。

(発行) 地方独立行政法人
栃木県立リハビリテーションセンター
管理部総務課

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1
TEL 028-623-6101 (代表)
FAX 028-623-6151
ホームページ <https://tochigi-riha.jp/>

